

2026年度 SSI（総探）

【第11回】

これからの課題研究に向けて

仮説の検証に向けた準備など

2026年7月14日（火）



7月14日(火) SSIの内容

(1) 専門的課題研究に向けて

- 専門的課題研究のテーマ設定に向けて
- 夏休みの宿題「専門的課題研究予備調査」

(2) 研究計画発表会までの前期プレ探究振り返り

- 発表会フィードバックを読んで、改善点を明らかにする。

(3) これからの前期プレ探究

- 仮説検証の方向性：インタビュー調査やアンケート調査
- 夏休みの宿題「文献調査報告書」

7月14日(火) SSIの内容

(1) 専門的課題研究に向けて

- 専門的課題研究のテーマ設定に向けて
- 夏休みの宿題「専門的課題研究予備調査」

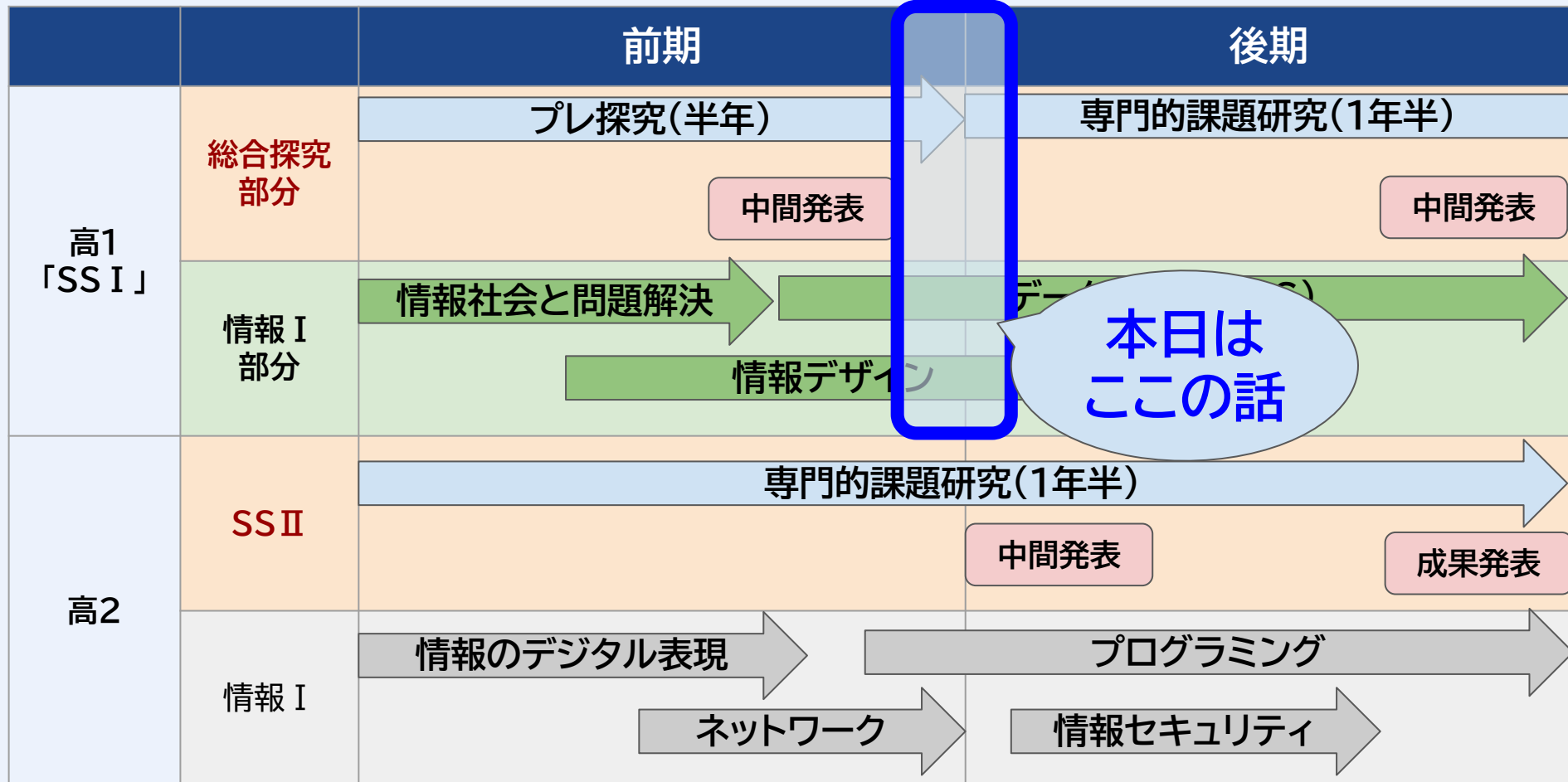
(2) 研究計画発表会までの前期プレ探究振り返り

- 発表会フィードバックを読んで、改善点を明らかにする。

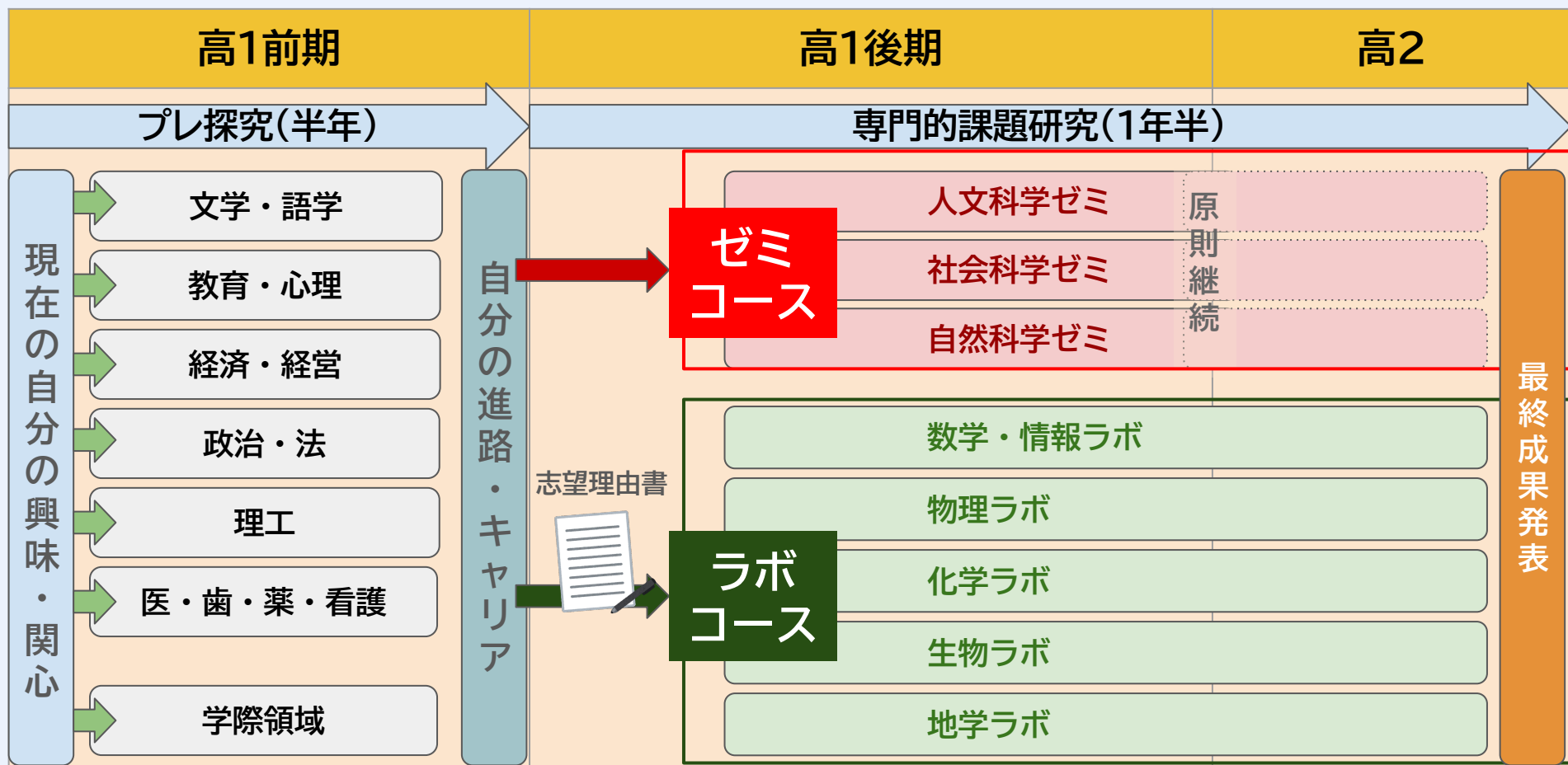
(3) これからの前期プレ探究

- 仮説検証の方向性：インタビュー調査やアンケート調査
- 夏休みの宿題「文献調査報告書」

高1・高2 年間計画 全体像



プレ探究から専門的課題研究へ



ゼミコースとラボコース

ゼミコース（3分野）

人文社会科学や
実験室を必要としない自然科学
分野の課題研究

ラボコース（5分野）

実験室での実験を伴う高度な
理工系分野の課題研究

★ 各ラボで人数制限あり
→ 志望理由書の提出



志望の理由を明確に示すとともに、
研究への熱意や情熱を伝えてください！

専門的課題研究のイメージ

- | | |
|-------|------------------|
| STEP1 | 研究テーマを決める |
| STEP2 | リサーチクエスチョンを導く |
| STEP3 | 仮説を立てる |
| STEP4 | 適切な研究方法を選ぶ |
| 中間目標 | 研究計画書を作成する |
| STEP5 | 調査・実験を実施する |
| STEP6 | 結果をまとめて考察し、結論を導く |
| STEP7 | 研究内容をまとめ、発表する |

より高次のRQへ

高1
中間発表

探究
Day

生徒探究
発表会

step1

振り返り

step7

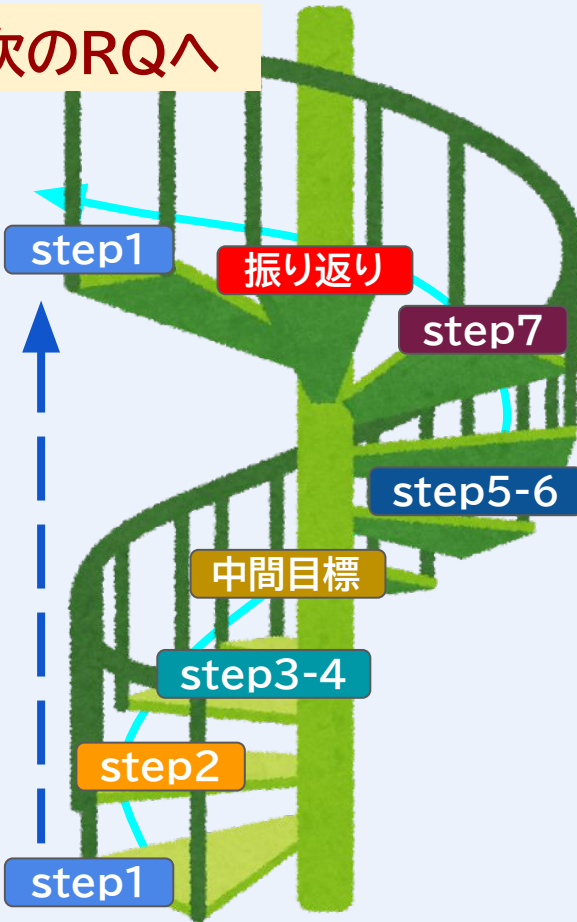
step5-6

中間目標

step3-4

step2

step1



2026年度 専門的課題研究テーマ決定まで

7/14	SS I 授業⑪ 専門的課題研究 概要説明 SS I 担当教員一覧を配信 ★研究分野事前調査フォーム(第1次)配信 → 8/26 締切	
9/1 9/8	SS I 授業⑫⑬ 授業時間内の研究室訪問も可 ※理科4分野希望生徒 → 研究室訪問 (9/1放課後～9/15) 必須	
9/15	SS I 授業⑭ 前期SS I 最終授業 授業時間内の研究室訪問も可 ★研究分野本登録フォーム(第2次)配信 → 9/18 締切	
9/19	理科分野希望者対象「テーマ選定のための合同相談会」 理科4分野希望の生徒 → 1教室(場所未定)に集まり、仮チーム編成	
	★理科分野最終登録フォーム(第3次)配信 → 10/1 締切 理科4分野希望の生徒 → 志望理由書(ラボコース希望者)	
10/13	後期初回 チーム決定・研究テーマ設定	

研究分野希望調査フォーム（第1次）

研究分野を夏休み中にじっくりと考え、**仮登録**を行う。

特に、**ラボコース**希望者は自分の研究したいと考えている内容と研究を行う教室(研究指導教員)とのマッチングを意識する。

- チームを組まず、**個人研究も可**
- チームでの研究を推奨。
1チーム 2～4名(4名以下厳守)
- 外部コンテストへの積極参加

系統	学問分野
人文科学	歴史学、考古学、地理学、哲学、心理学、文化学、文学、語学、言語学
社会科学	法学、政治学、商学、経営学、社会学、経済学、観光学 マスコミ学・メディア学、コミュニケーション学、社会科学系学際
理学	数学、物理学、化学、生物学、生命科学、地学、宇宙科学、情報科学、 広域科学、理学系学際
工学	機械工学、電気通信工学、応用物理学、応用科学、応用生物学、材料工学、 経営工学、情報工学、画像・音響工学、生産・システム工学、 工芸学・工業デザイン、商船学、都市工学、土木建築工学、工学系学際
農学	農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、獣医学・畜産学、水産学、森林科学
医療・保健	医学、歯学、薬学、栄養学、保健・衛生・医療技術学、看護学
家政	家政学、食物学、住居学、児童学、被服学
教育	教育学、体育学、総合科学、教員養成
芸術	美術、工芸・デザイン、音楽、芸術系学際
総合学際	教養学、国際関係学、人間科学

研究室訪問

理科4分野の研究希望者

9月1日～15日の期間に、
自分の研究したい分野の先生を
訪ねて、相談に行く。

❖ 9/1・8・15の授業時間内の
研究室訪問も可

予備調査の回答結果を
「希望研究テーマシート」として
プリントアウトし、配布
→これを持参して訪問を行う。

2025 年度 SS I 専門的課題研究 希望研究テーマシート

組番	氏名	チーム
研究したい 内容	エネルギーに関わる研究をしたい。 特に、ニッケルカドミウム電池やニッケル水素電池などの二次電池で起こるメモリー効果の原理について。	
希望配属先	02. 物理ラボ, 03. 化学ラボ	
【志望理由】 以前科学雑誌 Newton を読んだ際に、ニッケルコバルト電池やニッケル水素電池にはメモリー効果という電池の電圧が下がる現象が起こることということ知った。また、その発生する原因は明確でないということも書いてあった。 メモリー効果について調べると、この原理を解明することは電池の長寿命化や、発熱等による事故・故障のリスク低減につながることがわかった。また、劣化による電池交換の回数が減ことで廃棄物の削減といった環境保全にもつながると思いました。 以上のことから私はメモリー効果について研究したいと思いました。		

2025年度 SS I 研究室訪問メモ用紙

訪問日時	9 月 日 ()	訪問先	先生
メモ			

研究分野本登録フォーム（第2次）



専門的課題研究の研究分野の**正式決定(本登録)**を行う。

理科4分野の研究希望者は研究室訪問での相談に基づき、自分の研究したい分野を明確にして回答を行う。

合同相談会に参加 → 仮チーム編成＋コース(ゼミorラボ)選択へ

人文科学系ゼミ、社会科学系ゼミ、

理科4分野以外の自然科学系ゼミ(数学・情報ラボ含む)希望の生徒



ここでの登録に基づき、初回授業の配属先(分野別教室)が決定

→ 後期の最初2～3回程度で教室移動も含め、チーム確定へ

理科分野最終登録フォーム（第3次）



理科4分野の研究希望者のみフォームに回答

合同相談会を経て、決まった下記の内容を回答する。

- ① 研究しようと思っている内容
- ② 共同研究者(予定) → 現在の「仮チームのメンバー」
- ③ 希望コース
- ④ ラボコース希望の場合は志望理由書

理科4分野の自然科学系ゼミ・ラボ

ここでの登録に基づき、初回授業の配属先(分野別教室)が決定

→ 後期初回授業時に最終調整を行い、チーム確定へ

2026年度 SSI分野 & 担当教員一覧

自分の研究したいテーマについて、先生方に積極的に相談に行きましょう！

■情報分野

【分野紹介・注意事項等】

情報科学、情報工学の分野に加え、数理・AI・データサイエンス分野に興味を持ち研究を行う生徒を支援していきたいと思っています。特にディープラーニングは最近、社会に大きな影響を与えている注目の分野であり、興味を持っている人も多いと思いますが、それだけ世界中で多くの人が熱心に研究を行って成果を日々出している領域でもあります。したがって、高校生がその中で探究テーマを設定することはそれなりの困難が予想されます。困難な中にあっても覚悟をもって辛抱強く探究を続けられる人はぜひ挑戦してください。

担当教員	学年／教科	専門分野	自己紹介・メッセージ	相談可能時間
	高1 探究科 情報科	統計学 機械学習 AI	コンピュータを活用したデータ分析や機械学習など、いわゆるデータサイエンス全般に興味を持っています。 このような分野に興味をもっているみなさんとぜひ一緒に学んでいきたいと思っています。	

■物理分野

【分野紹介・注意事項等】

物理は大きく力学・熱・波動・電磁気・原子物理の5分野からなりますが、波動(音・光)と電磁気が高校生の課題研究に向く分野です。

担当教員	学年／教科	専門分野	自己紹介・メッセージ	相談可能時間
	中3 探究科 理科(物理)	地球物理学 惑星学 物理教育	惑星物理学という地学と物理の境界で、木星オーロラについて研究を行っています。観測データをまとめ、解析し、その現象について自分の理論・考察を述べるのが本当に楽しく感じていました。一緒に実験・データ解析・考察ができたと思います。	
	高1 理科(物理)	地球内部物理学	課題研究の授業担当になって10年以上になります。試行錯誤しながら取り組んでいくこの授業が最近はまだ一段と楽しくなってきました。どの分野のテーマでも支援しますが、未習分野(高校レベルを超えた内容の場合もあり)であっても、自分で意欲的に学習する姿勢で臨んでください。	

【夏休み課題②】 専門的課題研究予備調査

自分の興味・関心を改めて掘り下げ、
自らの進路も考えながら
研究していきたい分野を考える。

Point

研究内容と研究動機を
明確にし、できるだけ
具体的に記入しよう！

8月26日(水) 20:00まで



【SS I】専門的課題研究予備調査

★提出期限：8月26日(水) 20:00

後期からの専門的課題研究の研究テーマを夏休みを利用してじっくりと考えてください。
特に、理科学分野(物理、化学、生物、地学)の研究を希望する生徒は、ラボコースの配属も見据えて、夏休み明けすぐに「研究室訪問」の時間があります。
研究を指導される先生方より直接お話を伺いながら、研究内容を定めていくわけですので、それまでに自分の考えがある程度まとまっている必要があります。
後で変更も可能ですので、夏休みによく考えて導き出した自分の希望や考えを自分の言葉でしっかりと述べて、こちらのフォームを提出してください。

その研究分野を希望する理由*

自分自身がなぜその分野に興味を持ち、研究をしたいこうと考えたのかについて述べてください。

※最低字数:100文字

※上の質問で「ラボ」に1つでもチェックを入れた人は特に詳しく書いてください。

回答を入力

サイエンス研究会

★ ラボコース選択者 → サイエンス研究会に必ず参加

★ ゼミコース選択者 → サイエンス研究会に参加できる



放課後に研究に必要な実験を行うことも可能になります。

7月14日(火) SSIの内容

(1) 専門的課題研究に向けて

- 専門的課題研究のテーマ設定に向けて
- 夏休みの宿題「専門的課題研究予備調査」

(2) 研究計画発表会までの前期プレ探究振り返り

- 発表会フィードバックを読んで、改善点を明らかにする。

(3) これからの前期プレ探究

- 仮説検証の方向性：インタビュー調査やアンケート調査
- 夏休みの宿題「文献調査報告書」

これまでの前期プレ探究

- 自分の興味・関心のある学問分野をもとに教室に分かれ、研究したい内容が近いメンバーでチームを編成した。
- 各チームプレ探究活動を開始：
 - ①研究テーマ設定 → ②リサーチクエスチョン導出
→ ③仮説立案 → ④仮説の検証方法を考察
- ここまでの研究計画を研究計画発表会で発表(7/7)

本日は研究計画発表会までの自身の探究活動を振り返ろう！

自己評価フォーム



相互評価



【SS I】発表会相互評価フォーム

2026年7月7日(火)5-6限

SS I 前期ブレ探究研究計画発表会

★こちらのフォームは《相互評価》用です。

他のチームの発表を評価
発表を聞きながら、評価をして、
発表が終わるごとに送信をする。



自己評価



【SS I】発表会自己評価フォーム

2026年7月7日(火)5-6限

SS I 前期ブレ探究研究計画発表会

★こちらのフォームは《自己評価》用です。

自分のチームの発表を評価
発表の翌週の授業時に、
発表を振り返り送信をする。

研究計画発表会フィードバック

夏休み明けの前期プレ探究と今後の研究発表に向けて、
自らの強みと改善したほうが良い点を把握しよう！

【ルーブリック評価値(全て 4 段階)】

課題の背景と意義への理解	問いと仮説の適切性	発表の明瞭性	視覚的表現のデザイン性	全体平均
3.7	点数だけでなくここをしっかりと読み込もう			3.47

【相互評価】

- これから資源が枯渇していく中使えるものを使おうとする中で、宇宙資源は一個の選択肢だと思うので、とても重要な問題だと感じた。
- 文献調査で一冊しか使わないのではなく、5冊ほど使う予定であるうに、この文献は参考程度、などと決まっているのも良いと思いました。
- 文献調査に使う資料を決めて説明しているのが良いと思った
- 宇宙の資源について調べるだけでなく、地球と宇宙をつなげて仮説を立てているのがすごいと思った。専門家に聞きに行く熱量が自分とは違う。
- 宇宙と社会のつながりという目の付け所が斬新でいいとおもいました。説明が丁寧でわかりやすかった。実際の専門の方にインタビューをしに行く行動力がすごい！
- 発表内容、特に検証方法がしっかりとっていてわかりやすくとまっていた。
- 時事的な話題を取り入れて聞き手の興味を引き出して良かった。
- 宇宙に関する法律があることを初めて知ったし、実際に研究している人にアンケートをすることは、日時はきまっていなくても、積極的でいいなと思った

7月14日(火) SSIの内容

(1) 専門的課題研究に向けて

- 専門的課題研究のテーマ設定に向けて
- 夏休みの宿題「専門的課題研究予備調査」

(2) 研究計画発表会までの前期プレ探究振り返り

- 発表会フィードバックを読んで、改善点を明らかにする。

(3) これからの前期プレ探究

- 仮説検証の方向性：インタビュー調査やアンケート調査
- 夏休みの宿題「文献調査報告書」

本日の活動

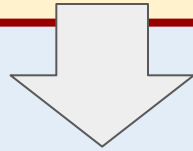
STEP1	研究テーマを決める	4月
STEP2	リサーチクエスチョンを導く	5月
STEP3	仮説を立てる	6月 7月
STEP4	適切な研究方法を選ぶ	
中間目標	研究計画書を作成する	7月
STEP5	調査・実験を実施する	9月
STEP6	結果をまとめて考察し、結論を導く	
STEP7	研究内容をまとめ、発表する	9月



ここの部分

本日の活動内容

全チーム 今後の**仮説検証の方針**を定めて計画・実施へ



(主に下記3つの方針)

◆ 文献研究のみのチーム

→ 追加の文献調査計画作成 → 文献調査継続

◆ インタビュー調査を実施予定のチーム

→ インタビューの企画立案 対象・内容・実施時期

◆ アンケート調査を実施予定のチーム

→ アンケート作成(アンケート項目の作成→後述)



【夏休み課題①】 文献調査報告書

Step5 (夏休み)

文献調査を個人で行う。

Step5 (夏休み明け)

文献調査を共有
アンケートなど他の調査

Step6-7 (前期末)

研究結果・考察と結論

高校46期
SSI (総合探究)

文献調査報告書

チーム番号

研究者

1 年

組 氏名 :

自分のチームが現在立てているリサーチエスションについての文献調査を進めましょう。
夏休みはまず個人で調査を行います。他の生徒とは共有しないでください。
夏休み明けにチームでそれぞれの文献調査報告書を共有し、研究計画書兼報告書の「報告書」部分のまとめを行っていきます。

(1) 研究テーマ

(2) 文献調査のための文献リスト

文献情報の書き方については、『課題研究メソッド2nd Ed』176-177ページ参照してください。テーマについて詳しくなるために必要そうな論文または単行本を1冊、しっかり読んでみましょう。

(3) 文献調査(調べ学習)のまとめ

(2)に挙げた文献の調査から分かったことを、800字～1600字でまとめてください。
研究テーマに関する基礎知識や先行研究の内容の部分については他の人が読んで分かるようにまとめましょう。

【Step5】文献調査報告の共有＋他の調査

Step5 (夏休み)

文献調査を個人で行う。

Step5 (夏休み明け)

文献調査を共有
アンケートなど他の調査

Step6-7 (前期末)

研究結果・考察と結論

研究報告書 (5)(6)部分

(5) 研究結果

(研究手法を実施した結果得られた定量的データ、定性的データをまとめます)

(6) 考察・結論

(研究結果のデータに、考察・分析をくわえ、リサーチクエストに照らして、分かったことや分からなかったことをまとめます。)

インタビュー実施予定チーム

インタビューの対象：原則は学内の生徒・教員

7月14日(火) 第11回	インタビューの計画と依頼(アポ)
夏休み～9月7日(月)	インタビューの実施
9月 1日(火) 第12回 9月 8日(火) 第13回	インタビュー記録の整理→研究結果まとめ プレ探究計画書兼報告書の(5)(6)作成

「課題研究メソッド」p83-85や下記のようなサイトを参考に、
インタビューのマナーや必要な事前準備を必ず確認しましょう！

- [NHK for School](#)
- [\(株\)クリエイティブバンク 「成功するインタビューのやり方」](#)
- [Appmart 「初めてでも大丈夫！インタビューの方法とコツ。必要な準備や段取りも紹介」](#)

アンケート実施予定チーム

調査対象：原則は**高校1年生全員**

※ 教員の協力が必要な場合は、SS I 担当教員(28名)が最大範囲

回答時間：**1分以内**に回答できる量が原則

7月14日(火) 第11回	アンケート作成
8月26日(水) 20:00	アンケートの回答リンク 提出締切 (所定のスプレッドシートにフォームのリンクをはる)
8月27日(木)～	アンケートの相互回答
9月1日(火) 第12回	アンケート結果集約→分析→研究結果まとめ プレ探究計画書兼報告書の(5)(6)作成

アンケート実施予定チーム

課題研究のための校内アンケート実施ガイドライン

2025年11月25日初版 探究科

研究活動におけるアンケートは、仮説を検証し実態を把握する重要な手段です。回答は協力者の貴重な「時間」と「情報」の提供によって成り立っています。協力への感謝を常に持って適切に実施してください。

1. 本校における基本ルール（必須遵守事項）

(1) 【原則無記名】 個人情報の非収集

- Googleフォームの「メールアドレスを収集する」設定は必ずオフにします。
- 氏名、クラス・出席番号の組み合わせなど、個人が特定できる質問は禁止します。
(個人が特定されないような必要最小限の属性情報を質問することは問題ありません。)

(2) 【負担軽減】 回答時間は「1分程度を原則、最長でも2分以内」厳守

- 回答者の負担を最小限に抑えるため、所要時間は1～2分に収めます。
- 設問を厳選し、回答の質とデータの信頼性を確保してください。
- 自由記述は回答者の負担が非常に大きいので、分析に不可欠な場合のみ、最小限に留めてください。

2. 調査企画（アンケート設計の土台）

(1) 研究仮説との連動

「この調査で明らかにしたいこと」を明確にし、「仮説の検証に必要なデータは何か」という視点で設問を設計します。

(2) 分析イメージの具体化

- 「どのように分析・考察するか」を具体的にイメージします。(例:男女差の比較、学年別の傾向、クロス集計など)
- 最終的な分析・考察に使用しない設問は冗長です。必ず削除してください。

3. アンケート作成（依頼文と設問の品質）

(1) 依頼文 研究活動として、丁寧かつ誠実な依頼文を冒頭に記載(下記文例)

私たちは、課題研究の一環として、本校生徒の「〇〇」についての調査を行っています。
このアンケートは無記名であり、回答によって個人が特定されることは一切ありません。
回答は統計的に処理され、研究発表(論文、ポスター、口頭発表など)以外に使用することはありません。
所要時間は約1～2分です。ご多忙のところ恐れ入りますが、ご協力いただけますと幸いです。

ガイドラインの遵守！

★最重要★

個人情報の非収集

推定回答時間 原則1分以下

リード文でアンケートの趣旨説明

xxxアンケート調査

私たちは、課題研究の一環として、本校生徒の「〇〇」についての調査を行っています。
このアンケートは無記名であり、回答によって個人が特定されることは一切ありません。
回答は統計的に処理され、研究発表(論文、ポスター、口頭発表など)以外に使用することはありません。
所要時間は約1～2分です。ご多忙のところ恐れ入りますが、ご協力いただけますと幸いです。

アンケート実施予定チーム

Googleフォーム

画面右上の  ボタンから
フォームのリンクを取得 ( URLを短縮)



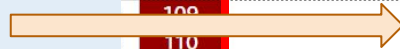
SSのClassroom

【全般】SS I 前期アンケートリンク集

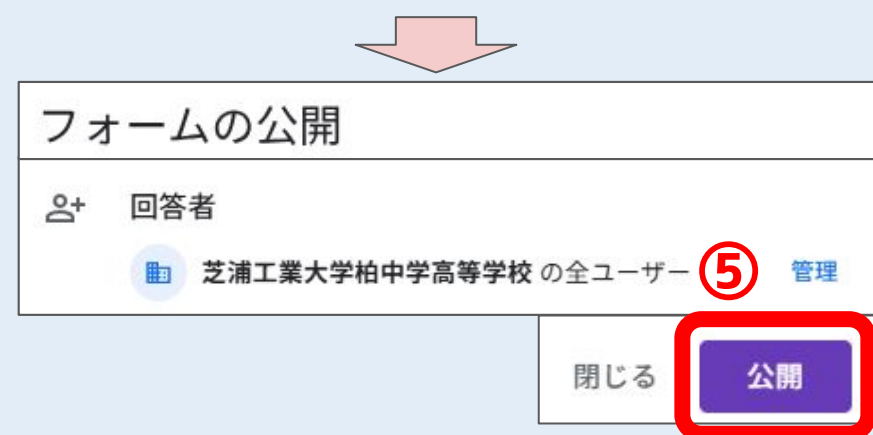
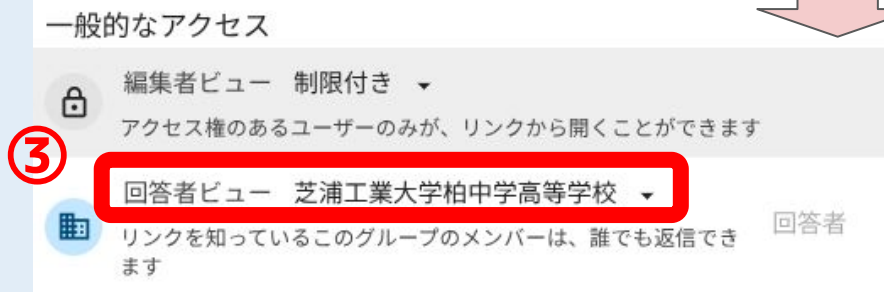
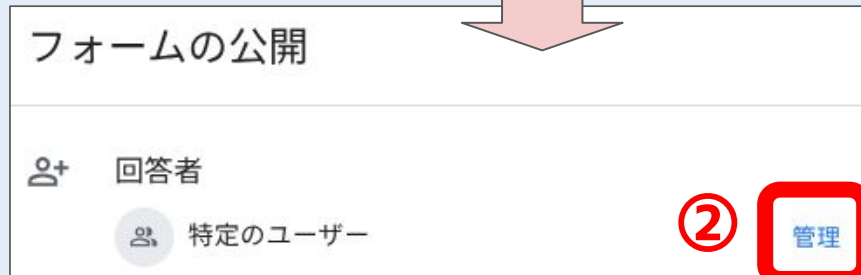
添付のスプレッドシート

Googleフォームの回答リンクを
例に倣って貼り付けましょう！

A	B
チーム	アンケートフォームのURL (短縮したもの)
例	https://forms.gle/86fNvcX5MQe2HAh27
101	
102	
103	
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	
111	
201	



[補足] フォームの公開+リンク取得方法



今後の予定 まとめ

	共通	インタビュー調査	アンケート調査
7/14	研究手法選択	インタビューの計画	アンケート作成
夏休み		インタビューの実施	↓
8/26	文献調査報告提出	↓	回答リンク 提出締切
8/27 -8/31		↓	アンケート相互回答
9/1	文献調査まとめ	インタビューまとめ	アンケート集計・分析
9/15	研究報告書まとめ		
9/28	研究報告書提出締切		

次回の予定

次回 → 9月1日(火) 6限

研究計画書(5)から(6)へ

- 文献調査

文献調査の結果のまとめ

- インタビュー調査

インタビュー調査のまとめ

- アンケート調査

集計と分析方法の検討

STEP1	研究テーマを決める
STEP2	リサーチクエスチョンを導く
STEP3	仮説を立てる
STEP4	適切な研究方法を選ぶ
中間目標	研究計画書を作成する
STEP5	調査・実験を実施する
STEP6	結果をまとめて考察し、結論を導く
STEP7	研究内容をまとめ、発表する